

(別添7)

事業所名 グループホーム ビハーラ豆田

2 目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族同士が交流し、事業所と対話する機会がない。	家族会(懇親会)を開催し、家族同士のスキンシップや介護に対する共感をの場を提供する。	①年2回家族会開催の趣旨を説明する。 ②開催時には議題や討議内容を設定する。 ③会終了後にはアンケートを行い、次回に向けた準備を行う。	12ヶ月
2	47	利用者が内服している薬剤の効果・副作用等について職員全員で学び、理解する必要性がある。	内服薬に対する知識を向上させ、日常のケアに生かす。	①施設内研修にて薬学に対して学ぶ場を提供する。	6ヶ月
3	33	ターミナルケアに対する経験が少なく、事業所全体で終末期に対して知識の共有が必要。	ターミナルケアについて事業所単位で知識や技術の底上げを狙う。	①内部研修にて終末期を議題とした研修を開催する。 ②在宅医師より終末期ケアに対する研修を開催して頂く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。